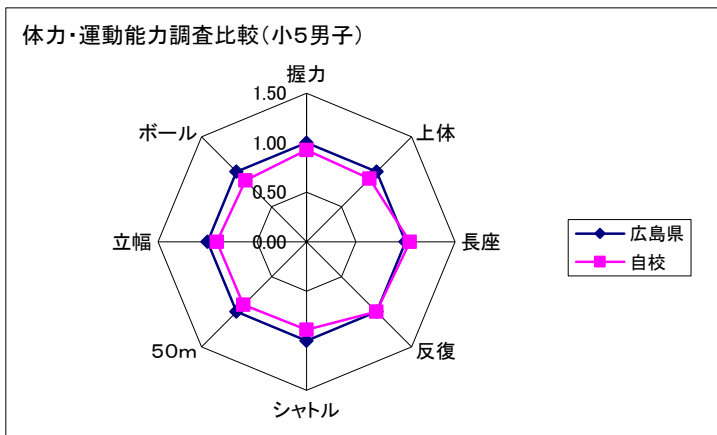
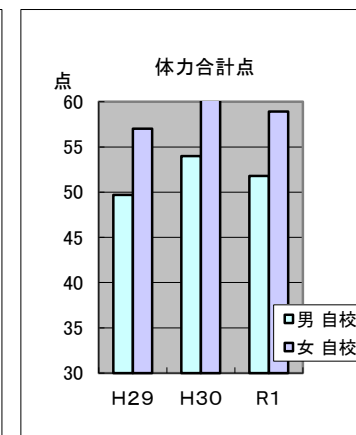
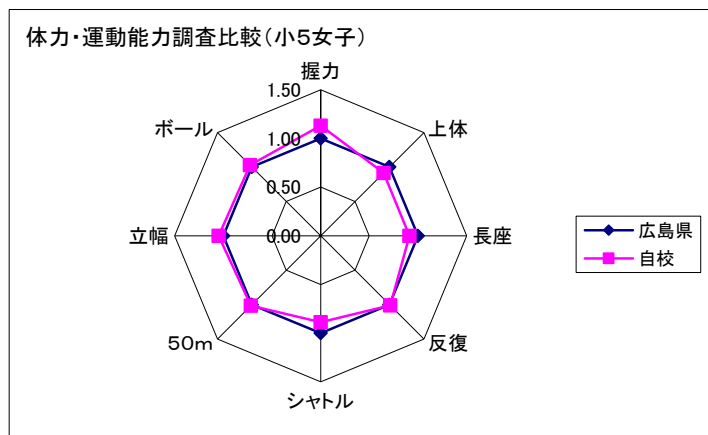


男子の体力合計点 学校 51.8点 県平均 56.09点



女子の体力合計点 学校 58.9点 県平均 57.92点



R1体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・前年度と平均値を比較すると全体的には男女とも記録が伸びているが、3年生の女子と5・6年生の男子に課題が見られる。
 ・外遊びを奨励し、鬼ごっこ等の運動の機会が増えたことや、ダッシュリレーを継続的に行うようにしたことで向上したと思われる。

②20mシャトルランテスト(中学校区の課題種目)
 ・1・2年生は県平均を上回っているが、3年生以上では4年生女子以外全て県平均に達していない。体力的な問題もあるが、体カテストに臨む意欲が低いことも要因として考えられる。

③長座体前屈(自校の課題種目)
 ・昨年は、ほぼ全学年が県平均に達していなかったが、今年は1・2年生と4・5年生の男子が県平均を上回った。3年生から6年生までの女子はすべて県平均に及ばなかった。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子0.5秒, 女子0.1秒)	具体的な取組内容 ・教科体育の中で、短距離走につながるような「走の基本となる運動」(スキップ・大股走・もも上げ等)や「鬼ごっこ」などの運動を取り入れるようにする。 ・授業の初めに、「くれ・チャレンジ・マッチスタジアム」のダッシュリレーを継続的に行う。
②中学校区の課題種目 (20mシャトルランテスト) 具体的な数値目標 (男子8回, 女子7回)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・校内マラソン大会を設定し、業間マラソンや体育科の時間に個人目標をもって取り組ませ、持久力を高めていく。 ・ロング昼休憩を1ヶ月に1回設定し、外遊びの奨励をする。前半の時間は、「くれ・チャレンジ・マッチスタジアム」の8の字跳びに挑戦するようにする。
③自校の課題種目 (長座体前屈) 具体的な数値目標 (男子1cm, 女子3cm)	具体的な取組内容 ・体育科の準備運動で、柔軟性を高める運動を取り入れる。 ・長期休業中に、自校で考案した柔軟頑張りカードを活用して柔軟性を高める運動を行うように、家庭にも協力を呼びかける。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)